



**MORIOKA**  
ROTARY CLUB WEEKLY

第41回例会(6月15日)  
平成30年7月6日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10  
川徳デパート内  
例会場 同上 TEL 019(651)1111(代)  
例会日 毎週金曜日12時30分～  
<http://www.morioka-rc.jp/>

会長 飯塚 肇  
幹事 星 克彦  
会報 伴 亨  
クラブ事務局 TEL 019(653)5682  
FAX 019(653)5622

RI会長テーマ ROTARY: MAKING A DIFFERENCE. 'ロータリー: 変化をもたらす'... イアン H.S. ライスリー  
盛岡RC会長テーマ —もう一度、奉仕— 飯塚 肇

2017-2018 年度

## 第4回クラブアッセンブリー

### ■クラブ奉仕委員会 / 海野 尚 委員長

飯塚会長のテーマ「もう一度、奉仕」のもと、ロータリーの基本に戻って、奉仕を見直し活動を活発に行うこと。

次年度80周年、田中ガバナー年度に向けて、会員が一致団結して取り組むように、各小委員会、しっかりと活動をしてきました。皆様のご協力に感謝して報告いたします。

〔会員増強〕 藤村文昭 委員長

来年度がクラブ創立80周年、そして田中ガバナー輩出年度ということもあり、15名の純増と大きな目標を掲げ、会員の皆様のご協力をいただきました。年度始めは73名でスタートし、10名の入会者に対し、6月末日の退会予定者も含めて8名の退会者。結果2名の純増で、75名となります。

委員長として会員増強の難しさを痛感いたしました。長らく未充填となっていた四つの職業分類に4名の入会をいただき補填する事が出来ました。転勤等退会者のうち、3名ほどの後任の方が未入会となっておりますが、来年度早々に入会いただけると存じます。

更に現在勧誘中の会員候補者が5名ほどおりますので、早期に入会いただき80名体制でクラブ創立80周年を迎えることができると思います。入会の候補者を来期に引き継ぎ、更に増強できるよう会員の皆様のご協力をお願いいたします。

〔ロータリー情報〕 長野隆行 委員長

第一回目の新入会員対象のオリエンテーションを平成29年11月28日に佐藤義正委員、近藤駿委員とともに行いましたが、第二回目を6月19日に小川パストガバナーをお迎えして行います。

今年度、対象者のうち計9名の方々にロータリークラブの歴史と現況をお話し、更にはお互いの親睦を深め、意義のある会と致します。

〔出席〕 勝部民男 委員長

出席率の目標が常に80%以上でしたが、達したのは4回だけで少し残念でした。出席簿を拝見していると、新しい会員の方は最初が肝心という印象です。第1回目の欠席の後メイクアップをするか否かがその後の出席率に関係するようですので次期の委員会の方々にはよろしくお願い致します。

〔会報〕 伴 亨 委員長

飯塚会長年度から会報がB5版からA4版に変更された。会報委員会で当初計画した「B5版会報が持つ品格はそのままに、新しい感覚を加えたA4版 Morioka Rotary Club Weekly」は実現できたかなと考えております。しかし、一部会報担当者の無断欠席などが例年より目立つ中、例会出席時にそれを知りその代行を自ら行う会報委員の姿はまさにロータリアンと呼ばれるに相応しい方々であり、こういう方々の集まりが盛岡ロータリークラブを誇り高き存在としているのだとあらためて知った1年でありました。さらに、毎回、会報項目の吟味や校正を最初に整理してくれる山上さん及び会報委員の指示を的確に実践して期日通りに会報を届けてくれた山口北州印刷様に深く感謝申し上げます。

尚、山口北州印刷様は今年度で盛岡ロータリークラブの会報印刷を終了することになりました。私の入会時の推薦人を引き受けてくれた故山口徳治郎元会員の御尊父様の時代から当クラブの会報印刷を続けてきたそうです。長きにわたり盛岡

ロータリークラブの歴史を記録していただきました。長い間の御交誼に厚く御礼申し上げます。

〔プログラム〕 荒川鉄平 委員長

今年度は飯塚会長のテーマ「もう一度、奉仕」、またイアン HS ライズリー RI 会長テーマ「ロータリー：変化をもたらす」、これらのテーマに基づき策定したプログラム委員会方針の「経験豊富な会員の卓話で伝統ある盛岡クラブの継承」が実践出来たのではないかと考えております。

新入会員をはじめとして経験豊富な多数の会員の皆様、田中堯史ガバナーエレクト、次年度坂本広行会長、最後に飯塚肇会長と快く卓話をお引き受けくださいました。

また早々と4月9日に飯塚会長と次年度の海野尚プログラム委員長をお迎えして、委員全員参加でプログラム委員会の打ち上げを行った直後にNHKの田中宏暁会員の転勤が発表され、結果として送別会もできたことも楽しい思い出となりました。

卓話にご協力いただいた会員の方々、そして委員会のメンバーに、改めて感謝申し上げます。プログラム委員会の活動報告とさせていただきます。

〔親睦〕 大平騰一 委員長

親睦委員会は現在21名の委員を擁して例会の受付・集計・ニコニコの紹介と納涼会・秋の懇親会・年忘れ家族会・新年慶寿の会・観桜会などの受付・司会と運営進行に力を合わせて取り組んで参りました。

家族会など親睦の催しへは会員の皆様が本当に多く参加いただき、大変有難く思っています。

委員会の皆様にも多忙な仕事や出張など忙しい中、司会やニコニコの読み上げなどに個性と人間力を発揮していただき参加の会員やご家族の方々にも喜んで頂いたのではと感じています。

残りの予定も少なくなりましたが、最後まで親睦委員会の力を合わせて取り組んで行きたいと思っております。

■SAA／村井研一郎 SAA

ロータリークラブの本質である「親睦から奉仕へ」の出発は例会であり、例会こそロータリークラブの基本活動であります。この例会の設営がSAAの第一の任務であります。例会の気品と快適さ、スピーカーの音量やゲストへの対応など、特に例会場変更の時は慎重な配慮を心掛けて参りました。

会員の皆様にはもちろんの事、4人の副SAA、会場のカワトクを担当の方々を支えられてこの一年を無事終えられましたことに感謝致します。

ます。

■職業奉仕委員会／勝 雅行 委員長

職業を通じて人々や地域社会に奉仕することを基本理念とし「四つのテスト」に則って行動し、高い道德水準を維持することを目標とし、飯塚会長の掲げる「もう一度、奉仕」のテーマを踏まえ活動して参りました。

会員企業訪問は、NHKで試験放送中のハイビジョンを超える4K、8K「スーパーハイビジョン」の超高精細映像を映し出す次世代テレビ技術の見学に、多くの会員の皆様にご参加いただきました。任期中に退会された田中副委員長のご好意で、ニュース番組のスタジオも見学し、アナウンサー席につくなど貴重な体験もさせていただきました。飯塚会長の基本理念に則った目標を少しは達成できたと思います。ご協力ありがとうございました。

■社会奉仕委員会／工藤幸一 委員長

社会奉仕委員会は、飯塚会長から伝えられた「アースデイ」植樹計画から始まりました。

なかなか何をすればいいのか迷う中、星幹事をはじめ会員の皆様の協力をいただき、東日本大震災で消失した高田松原の再生を支援するという方向で、陸前高田RCの活動に協力することとなりました。

そして、NPO法人「高田松原を守る会」の高田松原再生植栽事業に協力支援することとなり、4月8日に、現地での植樹事業に参加しました。

当日は、17名の参加者で陸前高田の防潮堤外の植樹場所に、約160本（推定）の松の苗木を植え、支援金を贈呈してきました。

地域発展・環境保全委員会は、昨年9月10日に決定した受賞者を招いて、3月16日の例会にて「環境保全ポスター」金賞・銀賞・銅賞の表彰式を行いました。

さくら推進委員会は、6月1日に、中央公園にて約60本のさくらの手入れ作業を行いました。各事業に協力いただいた会員各位、また役員の皆様の協力ありがとうございました。

■国際奉仕委員会／熊谷隆司 委員長

この1年間のロータリー財団や米山記念奨学会への寄付の状況につきご報告いたします。

まず、クラブからの普通寄付につきましては、盛岡ロータリー80周年と田中ガバナー誕生を踏まえ、昨年12月の理事役員会において、ロータリー財団、及び米山記念奨学会への寄付額を増額していただきました。具体的には、ロータリー財団への寄付は、2017-18年度以降、年額12,600円（内訳は、財団一般寄付10,600円、ポリオ寄

付2,000円、なお、前年度までは年額10,000円)に増額、米山奨学会への寄付は、2017-18、2018-19年度の2年間は年額10,000円(前年度までは年額5,000円)に増額となりました。

次に、個人の寄付による功労者としては、飯塚会長、西島会員を含む4名の方にロータリー財団マルチプルフェローとしての寄付をしていただき、米山功労者としては田中堯史会員を含む3名の方に寄付をしていただきました。寄付をしていただいた方の中には多数回寄付をした方が含まれております。

会員の皆様の理解と協力により、ロータリー財団や米山記念奨学会の活動に寄与することができましたことを心より感謝申し上げます。

### ■ 青少年奉仕委員会 / 千葉隆史 委員長

2017-2018 青少年奉仕委員会では「自らが学び奉仕すること」、「奉仕する青少年を育てる」ことを目標に活動を行いました。

1. 次世代を託すべきインターアクトクラブ及び青少年との交流を通じて「奉仕の精神」「地域貢献」「国際理解」の考え方を深めるとともに、彼らの人格や指導力の育成に努め、その活動に対する支援、盛岡農業高等学校インターアクトクラブへの協力を行いました。
2. 社会奉仕委員・さくら推進委員会と協同し当クラブが寄贈植樹してきた桜の維持・管理・育成に協力しました。
3. 青少年奉仕団体の活動に対する資金援助について今年度青少年支援団体の見直しを行いました。

①不登校や引きこもりの問題に取り組んでいるNPO ボランの広場への支援金贈呈を継続。②NPO 法人いわて子育てネット、③NPO 法人インクルいわての2団体へ支援金贈呈④特定非営利活動法人フードバンク岩手へ食料の現物支援を開始しました。この活動への協力を広く会員の皆さんに呼びかけた結果、のべ40人の会員の皆様から100品目を超える食料寄付をいただきました。大変ありがとうございました。

各団体へはそれぞれ5年間の支援・協力をおこないます。今後も長く会員皆様のご協力をお願いいたします。

### ■ 80周年記念委員会 / 白石 茂 委員長

平成29年8月以来6回の会合を開き、現在までのところ決定しているのは平成30年9月17日の盛岡RCプレゼンツ「さだまさしショー」の開催に、一人当たり8,000円で300人分の恵まれな子供たちやその関係者を対象に招待し、同時に会員も参加することが決定しております。

また、記念式典は平成31年2月23日にホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングで16時より開催し、19時頃にお開きとなるようなスケジュールを考えています。

記念事業としては9月の「さだまさしショー」にあわせて、盛岡RCの歩みを市民に広報するために、今後増刷するクラブ案内パンフレットを配布する予定です。あわせてショー当日、クラブの歩みや、さくら植樹のパネルの展示等を県民会館の階段部分で行いたいと考えています。

さらに、財団への寄付金の個人平均額が低い事もあり、クラブとしての財団への寄付と、創立50周年に制作した「Big Friday」を増刷し、50周年以降に起きた出来事を載せる計画です。

### ■ 会計 / 平野佳則 会計

会費については、ほぼ順調に納めていただいております。会費がまだの方や各委員会の会計処理は6月末で通帳が締められますよう、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

残りは決算書の作成となります。飯塚肇会長・星克彦幹事が年次報告書を発行できるよう、早めに決算書類を提出するようにいたします。皆様一年間大変お世話になりました。ありがとうございます。

### 講評 川村 登 パスト会長



飯塚会長年度の最後のアッセンブリーの講評を依頼されました。

盛岡RCは80年の歴史と伝統を有する成熟した大人のクラブですので、各委員会の活動報告は充実した内容の立派なものでした。

今年度は来期創立80周年記念式典を迎える準備と、田中ガバナーのもと地区大会を開催する準備と、二つの大きなイベントを控えた年でした。

そして重点は会員増強と出席率向上で、会員80名、出席率80%以上を目標に活動しました。会員は現在78名、出席率は70数%ですが80名、80%になれば合格点になると思います。

本日報告の年次報告書は秋までに作成して頂ければ有難いです。

来期は80周年、また地区大会で他クラブとの交流も多くなると思います。ゲストスピーカーやビジターに対して盛岡RCの紹介パンフレットを現在作成中ですが、活用したいと思います。この1年間会長、幹事、各委員会、事務局の皆様には本当にお疲れさまでした。

心から感謝申し上げます。講評とします。